

# 呼吸器・膠原病内科



## I. はじめに（概要、教育理念、特色等）

呼吸器・膠原病内科は難治性の呼吸器・膠原病疾患の診療を行うとともに、疾患の分子病態解析による新しい診断・治療研究に取り組んでいます。特に肺癌患者の癌個性に基づく個別化（オーダーメイド）治療や特発性肺線維症に対する分子標的治療の開発へ向けた臨床研究を展開しています。また、呼吸器、膠原病領域の多数の治験に参画することで最新の治療法を経験するとともに当科独自の臨床試験を企画して最先端医療の開発に取り組んでいます。呼吸器、膠原病、アレルギー、感染症と幅広い領域の疾患を経験することで内科医として幅広い総合力を養うとともに、難治性呼吸器・膠原病疾患の病態解明やオーダーメイド治療などの新規治療法開発が展開できる臨床研究医（physician scientist）を排出することを目標としています。一方、社会貢献活動としてアレルギーフォーラム、膠原病・リウマチ県民講座、「肺の日」市民公開講座などの開催を通じ、疾患予防・克服を支援しています。社会問題となっている COPD 対策、アスベスト肺、悪性胸膜中皮腫、新型インフルエンザの診断や治療では県内の医療機関・医師会・行政とも連携し、中心的役割を果たしています。さらに病病・病連携を積極的に進め、大学病院の特性を生かした高度先進医療を提供できるように常時努めています。

## II. 専門研修プログラム

### ①呼吸器・膠原病内科専門研修システム

呼吸器・膠原病内科では内科専攻医として、内科専門研修を行うとともに、当科の専門領域である、呼吸器内科、リウマチ、アレルギー、感染症などの各サブスペシャリティ領域の専門研修を行うことができます。図に示しているようにサブスペシャリティ専門研修の開始時期により異なる研修コースがありますが、個々の希望によりいずれかのコースを選択します。サブスペシャリティ専門研修期間は各領域の専門医取得条件により異なります。いずれの専門研修も関連学会の研修プログラムに従い、大学病院内の各内科および協力病院と協力しながら行います。国内留学や徳島県外の関連施設での研修も行うことができます。

サブスペシャリティ領域として定義されていませんが、気管支鏡専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医、Infection Control Doctor、結核・抗酸菌症認定医等の専門資格の取得も可能です。

また、大学院生として医学研究に従事することができます。医学研究は専門医研修終了後、あるいは専門研

修と並行して行うことができ、大学院入学時期については希望により決定します。医学研究の主なテーマは肺癌、間質性肺炎・肺線維症、気管支喘息およびリウマチ・膠原病の病態解明です。難病に対する治療法の開発は臨床研究医（physician scientist）の永遠のテーマであり、臨床検体および疾患モデルを用いた研究を通して患者さんに最適な個別化（オーダーメイド）医療の開発を目指しています。診療の現場で感じる疑問を解明し、その成果を臨床の場で実感することで臨床医としての生きがいや醍醐味を感じることができます。

☆研究内容の詳細は教室ホームページ：<https://plaza.umin.ac.jp/sannai/> をご参照ください。

### ○研修終了後、10年目以降

専門医および学位取得後は、大学病院のスタッフとして診療、研究、教育に携わるか、関連病院において指導医として専門診療に携わるかの選択があります。呼吸器・膠原病内科では、国内外との共同研究にも取り組み、積極的に国内留学、海外留学の機会を提供しており、本人の希望により国内外への留学が実現できます。留学受入も常時行っており、国際感覚に富んだ医療人育成をめざしています。

◎専攻可能なサブスペシャリティ領域

呼吸器    リウマチ    アレルギー    感染症    腫瘍

### 専門研修プログラム

卒業後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A 内科標準コース	卒後臨床研修		内科専門研修			サブスペシャリティ専門研修 (*2)		*3		
						内科専門医取得			各領域専門医取得	
B 専門医重点コース	卒後臨床研修		内科専門研修			内科専門医取得		*3		
									各領域専門医取得	
			サブスペシャリティ専門研修 (*2)							
C 学位重点コース	卒後臨床研修		内科専門研修			内科専門医取得				
				*1	サブスペシャリティ専門研修 (*2)		各領域専門医取得			
				*1	大学院		学位取得		*4	
D 内科・専門医混合コース	卒後臨床研修		内科専門研修			内科専門医取得		*3		
			サブスペシャリティ専門医研修 (*2)					各領域専門医取得		
身分など	初期研修医		大学病院または協力病院にて勤務							

- \*1 専門医研修や大学院進学は任意のタイミングで開始する
- \*2 サブスペシャリティ専門研修の期間は各専門領域ごとに異なる
- \*3 専門医取得後、大学病院スタッフあるいは関連病院に勤務または大学院進学や、国内外への留学など
- \*4 学位取得後、大学病院スタッフあるいは関連病院に勤務

### ②大学病院での研修週間スケジュール

曜日	午前	午後
月	病棟業務・外来業務	アストグラフ、病棟業務、関節エコー 医局会、呼吸器合同カンファレンス、抄読会
火	気管支鏡検査、病棟業務・外来業務	病棟業務
水	教授回診	病棟業務、研究ミーティング
木	気管支鏡検査、病棟業務・外来業務	病棟業務
金	病棟業務・外来業務	病棟業務

### ③研修関連病院一覧

呼吸器・膠原病内科の関連病院は、徳島県に9病院、香川県に3病院、愛媛県に2病院、高知県に5病院、大阪府に6病院、そして東京都に1病院、神奈川県に1病院があり、総計27の病院に約60名の医師が勤務しております。いずれも地域の中核病院と位置づけられ、経験豊富な指導医がカリキュラムに沿って充実した研修指導を行っております。

☆関連病院の詳細→教室 HP：<https://plaza.umin.ac.jp/sannai/>

都府県	病院名	病床数	勤務 医師数	内科学会 ◎教育病院 ○教育関連 病院	呼吸器学会 ◎認定施設 ○関連施設	呼吸器 内視鏡学会 ◎認定施設 ○関連認定施設	リウマチ 学会 教育施設	アレルギー 学会 教育施設	感染症学会 ◎研修認定施設 ○連携研修施設
徳島	徳島大学病院	696	24	◎	◎	◎	○	○	◎
	県立中央病院	460	5	◎	◎	◎		○	◎
	県立三好病院	250	3	○	○				
	徳島市民病院	335	4	○	○	◎	○		
	吉野川医療センター	290	1	○					
	三好市立三野病院	60	3		○		○		
	つるぎ町立半田病院	120	2						
	国立病院機構 東徳島医療センター	276	2	○	○	○			
	徳島県鳴門病院	307	1	◎	◎	◎			
阿南医療センター	398	1							
香川	高松赤十字病院	576	3	◎	◎	◎			◎
	三豊市立西香川病院	150	1						
	高松市立みんなの病院	305	3	◎	◎	◎		○	
愛媛	松山赤十字病院	632	2	◎	◎	◎	○		◎
	公立学校共済組合 四国中央病院	275	2	○					
高知	国立病院機構高知病院	424	5	◎	◎	◎	○	○	◎
	高知医療センター	660	2	◎	○	◎			○
	高知赤十字病院	468	3	○	◎	◎	○		◎
	JA 高知病院	178	2	○					
	四万十市立市民病院	99	2						
大阪	国立病院機構近畿 中央呼吸器センター	365	1	◎	◎	◎			◎
	国立病院機構大阪 刀根山医療センター	410	2	◎	◎	◎	○		
	国立病院機構大阪 医療センター	694	1	◎	◎	◎			◎
	結核予防会大阪病院	191	0		◎	◎	○		◎
	淀川キリスト教病院	581	1	◎	◎		○		
	北大阪警察病院	280	1						
東京	聖路加国際病院	520	1	◎	◎	○	○	○	◎
神奈川	横浜市立みなと 赤十字病院	634	1	◎	◎	○	○	○	◎

### Ⅲ. 教育指導体制

#### ①指導スタッフ一覧表

現在大学病院内での実働人数は、教授 1、准教授 2（1 名医療教育開発センター兼任）、講師 3、助教 6、医

員 12（うち社会人大学院生 10 名）の合計 24 名であり、最近 5 年間の新入教室員の数は平均して 4 名／年程度です。呼吸器・膠原病内科は徳島大学病院における呼吸器および膠原病領域の診療を担当しており、肺癌、呼吸器感染症、気管支喘息、COPD、間質性肺炎などの呼吸器疾患と、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなどのリウマチ・膠原病疾患の全般的な診療を行っています。呼吸器専門医、リウマチ専門医を中心としたカンファレンスを行い、専門的な診断・治療を推進しています。

氏名	役職	専門領域	資格ほか
西岡 安彦	教授 科長	間質性肺疾患 呼吸器腫瘍 呼吸器疾患全般 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本アレルギー学会専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医 日本感染症学会認定 ICD
吾妻 雅彦	准教授 (医療教育開発センター 副センター長)	アレルギー疾患 呼吸器疾患全般 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医 日本アレルギー学会専門医
軒原 浩	准教授 総務医長	呼吸器腫瘍 呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医
東 桃代	特任講師 (感染制御部)	感染症 呼吸器疾患全般 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医 日本感染症学会専門医・指導医 日本感染症学会認定 ICD
坂口 暁	特任講師 (臨床試験管理センター)	呼吸器腫瘍 呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医
河野 弘	特任准教授 (地域リウマチ・総合 内科学分野)	膠原病疾患全般 呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医
佐藤 正大	講師	間質性肺疾患 呼吸器疾患全般 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
大塚 憲司	助教	呼吸器腫瘍 呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医・指導医
近藤 真代	特任助教 (地域リウマチ・総合 内科学分野)	呼吸器疾患全般 アレルギー疾患 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医 日本リウマチ学会専門医 日本アレルギー学会専門医
香西 博之	特任助教 (感染制御部)	呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医
香川 耕造	助教	呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医・指導医
米田 浩人	助教	呼吸器疾患全般	日本内科学会認定内科医
内藤 伸仁	助教	呼吸器疾患全般 膠原病疾患全般	日本内科学会認定内科医

## ② 診療内容・診療実績

呼吸器・膠原病内科は、徳島県のみならず四国における呼吸器疾患およびリウマチ・膠原病疾患診療の中心施設として全国あるいは世界トップレベルの医療を行いながら、研修医を含めた若手医師に対して充実した研修の場を提供しています。特に肺癌や肺線維症の国際共同治験に多数参画しており、最新の医療に携わることができます。

## ◆呼吸器疾患

## ①肺癌・その他の呼吸器系腫瘍

よりよい肺癌治療法の確立を目指して、当科が基幹施設として計画した自主臨床試験を行っています。2016年からはJCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）の一員となり、免疫チェックポイント阻害薬を中心とした数多くの臨床試験や治験に参加しています。これにより、最新の肺癌診療を経験することができます。

## ②間質性肺炎・肺線維症

全国が多施設と共同で行っている特発性間質性肺炎の前向き観察研究（JIPS Registry）に参加し、診療が全国レベルとなるよう努めています。治療においては肺線維症の治療薬として上市されている抗線維化薬（ピルフェニドン、ニンテダニブ）の開発治験のほとんどに参加し、現在も新規抗線維化薬の開発に向けた臨床試験に参画し、新薬の開発に関与しています。

## ③気管支喘息

呼吸NO やアストグラフを用いた気道過敏性検査に基づいた気管支喘息の診断に取り組み、ガイドラインに沿った診療を行っています。また、気管支サーモプラスティによる治療を導入予定としています。アレルギーフォーラムを定期的の実施し、新規抗喘息薬の臨床試験にも参画しています。

## ④呼吸器感染症・慢性閉塞性肺疾患

肺炎、慢性気道感染症、抗酸菌感染症（結核・非結核性抗酸菌）に対する診断・治療や在宅酸素療法の導入など、ガイドラインに基づいた診療を体系的に経験できます。

## ⑤睡眠時無呼吸症候群

ポリソムノグラフィーを用いた診断を行っており、nasal CPAPによる在宅持続陽圧呼吸療法の適応診断に役立つ技能が得られます。

## ◆膠原病・リウマチ性疾患

## ①関節リウマチ

診断に関節エコー検査を実施し、生物学的製剤や新規抗リウマチ薬による治療を行っており、これらの臨床試験にも参画しています。

## ②膠原病

各種膠原病疾患の診断およびステロイド・免疫抑制剤を用いた治療を行っています。膠原病・リウマチ県民講座の定期開催を通して県民への啓発活動にも力を入れています。

## ③膠原病関連間質性肺疾患

呼吸器内科と膠原病内科が一つになっているため、膠原病関連間質性肺疾患の症例を数多く経験できます。

## ③研究内容

呼吸器・膠原病内科には自由な発想で臨床研究できる環境が備わっており、チームワークを大切にしチャレンジ精神を持って研究テーマに取り組んでいます。具体的には、呼吸器・膠原病内科の診療の現場で抱いた疑問を原動力に、間質性肺炎・肺線維症（西岡、佐藤、香川）、肺がん（軒原、坂口、大塚、米田、三橋）、気管支喘息（吾妻、近藤）、リウマチ・膠原病（河野、内藤）、感染症（東、香西）に関する基礎的・臨床的研究を通してのトランスレーショナルリサーチを展開しています。研究成果は国内外の主要な関連学会にて発表するとともに国際的なインパクト指数の高い英文誌に掲載されています。国内外への留学も盛んで、常時1～2名を国立がんセンターなどへの国内留学、1～2名を米国、英国などの研究施設への国外留学へ派遣しております。初期研修後、希望者は随時、大学院へ進学し医学研究に取り組んでいます。

## ④同門会

同門会は「三徳会」と称し、現在約300名の会員がいます。毎年5月に年次総会を開催しており、関連施設からの臨床研究発表会や特別講演会が行われます。平成6年からは三徳会学術奨励賞が設けられ、優秀な業

績を挙げた若手研究者に毎年授与されています。懇親会やゴルフコンペも定期的に催され、会員同士の親睦にも努めています。定期的に会報（三徳会クォーターリー）を発行し、会員に対して同門会や医療に関する最新情報を提供しています。高知や関西などでは地区同門会が開催され、親交の場となっています。

## IV. メッセージ

呼吸器・膠原病内科は、高齢化社会の中で社会的ニーズの高い呼吸器・膠原病疾患の克服を目指し、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。難治性の呼吸器・膠原病疾患に対して最新の専門治療を推進し、徳島県のみならず四国における中心的な役割を果たしています。また自由な発想で臨床研究できる環境の中でチームワークを大切に、チャレンジ精神を持って日々の研究に取り組んでいます。教授以下、准教授・講師・助教の海外留学経験者が直接指導を行い、自ら考え解決する能力を身につけ、優れた内科医を養成する研修プログラムを用意しています。ぜひ、我々と一緒に切磋琢磨してみませんか？

## V. 連絡先

徳島大学病院呼吸器・膠原病内科（呼吸器・膠原病内科学教室）

TEL：088－633－7127    FAX：088－633－2134

教室ホームページ：<https://plaza.umin.ac.jp/sannai/>

E-mail：西岡 安彦    yasuhiko@tokushima-u.ac.jp

軒原 浩    hnokihara@tokushima-u.ac.jp